

津幡の空から

石川県学校生活協同組合

2018・9月号

石川県学校生活協黒字化3か年計画の最終年

今年の新米、もう食べましたか？

今年の新米をもう食べられましたか？ 私は、自分で作ったコシヒカリを食べました。自分で作りにこだわったのは、今年から稲作を兄から引き継いだからです。65歳の本当の新米の新米です。今年米づくりを経験して分かったことは、①水の管理が難しい。隣の田んぼを見ながら、それこそ見よう見まねで気を配っていました。②一か月に一度は草刈が必要。4月末に田植えをしてから、田んぼの中より周りの草がすぐに大きく育って、中の稲に悪影響を及ぼすのが心配で、一か月に一度の割合で草刈りをせっせとしました。その時、心に決めていたのは、中の稲に悪影響するかもしれない除草剤は使わないことでした。管理する田んぼの広さはそれほど広くないので、今年は大丈夫でした。



そして実ったお米です。もう一つこだわったのは、他の米とブレンドなしの純粋な自分の家で育ったコシヒカリにしたことです。今までは、JAに出して他のお米とブレンドされていたのです。

さて、その味は、それがあまり変わらないのです。でも、気分が違います。我が家の米という意識でおいしく思うのですね。

みなさんもおいしい新米をたくさん食べてください。でも、新米は水分の含有量が多いので、いつも通り炊飯すると柔らかくなりすぎるので注意が必要ですよ。

2018年度8月末 528万円の赤字。計画目標より27万円悪化です。

石川県学校生活協の2018年度8月末現在の経常損失金は▲528万円です。計画は▲501万円ですから27万円悪化しています。7月は供給実績が計画対比で79.8%、本当に心配していたのですが、8月になり供給実績は目標比で94.9%に回復し、一安心でした。でも、マイナスはマイナスです。

さて、9月は、エシカル運動の「つながろう応援活動」の供給高が、みなさんのおかげで目標額を超えたので（供給速報：約560万）うれしいことです。この調子でいってほしいです。年度末にはなんとか黒字25万円を達成できるように頑張ります。

みなさんの石川県学校生活協です。石川県学校生活協をもっともっと利用してください。

石川県学校生活協同組合は、県内の教職員を対象とした職域生協です。学校という職場の中で教職員の生活を共同で守り向上させることを目的に結集した福利厚生組織であり、石川県の教職員の自主福祉活動や消費者運動の拠点になっています。

シリーズ 第1回

《西洋の美術館・名画の紹介を始めるにあたって》北本豊春

欧米のツアー旅行では、大概、訪れる国の美術館へ入館します。素晴らしい名画を目にしても、その絵画が、誰によって描かれたのか、どんな意味を持っているのか、分らなくて、入館した意義は薄れてしまいます。そこで、これまで訪れた欧米の美術館に関して、どんな絵画が展示されているのか、その絵画がどんな意味を持っているのかについて、紹介する本を書きました。題名は「陽巴里美術館」です。この本の中では、哲学科の博士号を持つ佐倉陽巴里が、講義形式で、名画について教えてくれます。さらに、名画がある国の歴史等についても、分かり易く話してくれます。今回から、陽巴里美術館に取り上げられていく名画や美術館について、お話ししたいと考えています。

私自身について、簡潔に自己紹介したいと思います。小学校教師として38年間勤め、退職後東京で文芸活動をしています。日本ペンクラブ、東京作家クラブ、全作家協会、三田文学会に所属して活動しています。単行本は今回で7本目ですが他にも未出版の作品が何点かあります。前作は「哲女の散歩道」と言う標題の哲学史を扱った本です。西洋の音楽に関しても、書いてみたいと考えています。

編集後記 おすすめの出版本です

もうお気づきと思いますが、隣の記事が、「学校生活協と私」ではなく、「陽巴里（ひばり）美術館」の紹介文になりました。この原本は、加賀市の元教員の北本豊春さんの自費出版の著書です。なぜ載っているのかと言うと、この本を多くの皆さんに読んでもらいたいからです。一般的に自費出版の本を広めることは大変難しい状況で、いくら良い本でも、一般の本屋さんにおいてもらうことも稀です。しかし、学校生活協組合員の皆さんの中には、かなりの方が自費で本を作っておられます。そこで、学校用品で書籍（自費出版本）の紹介をしています。この本の前にも庄田望さんの「白蓮華」を紹介し、現在も販売中です。なお、「陽巴里（ひばり）美術館」の本自体は、石川県学校用品 ☎076-288-7286 一冊 **2000円（税込）** で扱っていますので、希望される方は注文をどしどしお願い致します。（ほその）